

英語科学習指導案

令和3年5月25日（火） 第6学年2組（プレイルーム） 指導者 原 雄規
Smith Gavin John

【単 元】We can change the world. ～今、地球のために私たちにできること～

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す 資質能力	- 環境問題と環境を守るためにできることを伝える際に用いる英語の音声や文字、英語表現、文構造、言語の働きについての知識 - 環境問題と環境を守るためにできることを伝えたり音声で慣れ親しんだ英語表現を書き写したりする基礎的な技能	環境問題と環境を守るためにできることについて発表をするために、英語表現の選択・組合せをし、英語を用いて相手に分かりやすく自らの考えを伝える力	英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら、環境問題と環境を守るためにできることを伝えようとする態度
児童の実態	- これまでに"I can ～.""I want to ～."等の英語表現を用いて自らのできることや行きたい国、したいことを伝えられるようになってきている。 "acid rain""forest decline"等の環境問題に関する語彙や、環境問題について発表をする際に用いる"We have～." "～ can't live on the earth."等の英語表現について初めて学習する。	"I can ～.""I want to ～."等の英語表現の選択・組合せをし、自己紹介できるようになってきている。 - 環境問題と環境を守るためにできることについて発表することは"We can ～.""I want to ～."等、助動詞や不定詞を用いる必要があるため、英語表現の選択・組合せをすることが難しい児童もいる。	- 英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら、自らのできることやしたいことの発表をしようとしてきている。 - 友達についての True or False クイズの発表をした際、相手の発表に対して"Speed up.""Big voice, please." "Great!"等の反応をしながら聞くことができない児童がいる。
価値	- 群馬大学の留学生に環境問題と環境を守るためにできることについて発表をすることは、自らが実践をしている環境を守る取組を振り返り、環境に対する自らの考えについて英語で発表をする機会をもてる。 - タブレットを用いて、ALTのモデル動画を確認することは、初めて触れる"acid rain""forest decline""reduce"等の英語表現を自らの必要に応じて繰り返し聞いて発音できる。	ペアで発表をすることは、環境問題と環境を守るためにできることについての英語表現の選択・組合せをする際に助言し合えるため、考えに合った英語表現に改善できる。	群馬大学の留学生に向けて発表をすることは、初対面の人に自らの考えを分かりやすく伝える必要があるため、友達と互いに反応をしながら、伝え方を改善できる。
見方・考え方	英語やその背景にある文化を捉え、群馬大学の留学生に環境問題と環境を守るためにできることについて発表をするというコミュニケーションを図る目的、場面、状況及び相手の反応に応じて、英語表現や伝え方の選択・組合せをすること。		
今後の学習	6年「My Future, My Dream」において、"I want to join ～.""I want to be ～."等の英語表現を用いて、中学校生活の目標を伝え合う学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	群馬大学の留学生に環境に対する自らの考えの発表をするために、他者に伝わるように工夫しながら、英語で環境問題や環境を守るためにできることを表現できる。			
評価 規準	(①知・技) 環境問題と環境を守るためにできること、食物連鎖と環境との関わりを表す英語表現について理解している。 環境問題と環境を守るためにできることを表す英語表現を英語の音声で発音したり、英語の語順で書き写したりしている。 (②思・判・表) 英語表現の選択・組合せをし、環境問題と環境を守るためにできることについてペアで考えたことの発表をしたり、書き写したりしている。 (③主体的態度) 友達やA L T、群馬大学の留学生に伝わるように英語表現や伝え方を工夫しながら、環境問題と環境を守るためにできることの発表をしようとしている。			
言語 事項	We have(forest decline/endangered animals/air pollution/global warming/water pollution/garbage problems/acid rain). (Fish/Polar bears/Birds/Plants/Animals)can't live on the earth. We can/I want to (reduce/reuse/recycle/keep/use/ride/plant/walk/clean/stop/change) ~.			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞ ※太字は「記録に残す評価」
追究する	I	○A L Tの環境についての発表のモデルや群馬大学の留学生のビデオレターを見聞きし、環境問題と環境を守るためにできることについての英語表現について話し合い、単元全体の課題（Unit Goal）をつかむ。 Unit Goal 群馬大学の留学生に発表をするために、ペアで環境問題について説明し、環境を守るためにできることについて発表をできるようになる	○環境問題の説明や環境を守るためにできることについて発表をする際に必要な英語表現に気付けるように、A L Tが写真やイラストを用いながら、モデルを演示する。	◇環境問題と環境を守るためにできることについて発表をする際に必要な英語表現について発言したり、記述したりしている。 ＜発言・Try シート①＞
	I	○A L Tによる食物連鎖と環境との関わりについての発表を見聞きし、"We have ~."~can't live on the earth."を用いて環境問題と環境問題による被害についての英語表現を発音する。	○食物連鎖と環境との関わりを聞いて理解できるように、A L Tが発表をする際に用いる写真を用意する。	◇食物連鎖と環境との関わりについての英語表現を聞いて理解したり、発音したりしている。 ＜発言・学習プリント①＞
	I	○環境問題と環境を守るためにできることを表す英語表現を用いた「マッチングゲーム」をし、"We have ~."~We can ~."を用いて、環境問題について伝え合う。	○環境問題と環境を守るためにできることを表す英語表現を繰り返し英語の音声で発音できるように、ゲームでめくったカードの英語表現を発音するルールを設定する。	◇環境問題と環境を守るためにできることについて発表をする際の英語表現を聞いて理解したり、英語の音声を発音したりしている。 ＜行動①＞
	I	○環境を守るためにしたいことを表す英語表現を用いた「クレイジーマンキーゲーム」をし、"I want to ~."を用いて、環境を守るためにしたいことについて伝え合う。	○環境を守るためにしたいことを表す英語表現を繰り返し英語の音声で発音できるように、ゲームで着いたマスに書かれている英語表現を発音するルールを設定する。	◇環境を守るためにできることやしたいことについて発表をする際の英語表現を聞いて理解したり、英語の音声を発音したりしている。 ＜行動①＞
	I	○環境問題と環境を守るためにできることを調べ、発表内容に関する写真の選択をし、発表に用いる画像資料を作成する。	○環境問題と環境を守るためにできることから、発表をしたいことを見付けられるように、タブレットや図書資料を用意する。	◇環境問題と環境を守るためにできることを調べ、発表をしたいことを記述したり画像の選択をしたりし、発表に用いる画像資料を作成している。 ＜行動③＞
まとめる	I	○環境問題と環境を守るためにできることについて発表をする英語表現や伝え方の改善をする。（本時）	○環境問題と環境を守るためにできることについて発表をする際の伝え方のよさや改善点に気付けるように、タブレットを用いて評価を送り合う機会を設定する。	◇環境問題と環境を守るためにできることについての英語表現の選択・組合せをし、友達からの反応を基に英語表現や伝え方を工夫している。 ＜行動②＞
	I	○群馬大学の留学生に向けてZoomを用いて、環境問題と環境を守るためにできることについて発表をする。	○環境問題と環境を守るためにできることについて発表をする英語表現や伝え方の改善点を確認できるように、前時記述したTryシートを見直したり、発表の前にペアでモデル動画を参考にしたりする機会を設定する。	◇目線やジェスチャーを意識して、聞き取りやすい声の大きさや速さで環境問題と環境を守るためにできることについて発表をしている。 ＜行動③＞
	I	○環境問題と環境を守るためにできることを表す英語表現を書き写す。	○環境問題と環境を守るためにできることを表す英語表現を文字の高さに気を付けて書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。	◇ペアで発表をした環境問題と環境を守るためにできることについての英語表現を書き写している。 ＜学習プリント②＞

本時の学習（7／8時間目）

ね ら い 友達からの反応を基に改善点を意識しながら、相手を替えて繰り返し発表をすることを通して、相手に分かりやすく英語表現や伝え方を工夫し、環境問題と環境を守るためにできることについての発表ができる。

評価項目 環境問題と環境を守るためにできることについての英語表現の選択・組合せをし、友達からの反応を基に英語表現や伝え方を工夫している。
<行動②>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・群馬大学の留学生への発表に向けて、今日は地球温暖化について友達に発表をしよう。"We have global warming."と言うのだったな。 ・地球温暖化のことや地球温暖化を止めるために自分たちにできることを友達に分かりやすく伝えたいな。（目的意識）	○環境問題と環境を守るためにできることを伝え合う目的を明確にできるように、群馬大学の留学生からのビデオレターの内容を大型モニターに提示し、初対面の人に自らの考えの発表をする際に気を付けることについて問いかける。 ○本時の見通しをもてるように、JTEが環境問題と環境を守るためにできることの発表をし、ALTが評価するというモデルを演示し、その発表内容について問いかける。
めあて：環境問題と環境を守るためにできることについて、ペアの考えが相手に伝わるように発表をできるようになろう	
2 環境問題と環境を守るためにできることについて発表をする。 ・"We can recycle."という英語を使って、地球温暖化を止めるためにできることについて発表をしよう。 ・"Where can you recycle?"と質問されたよ。次は"at the supermarket"という言葉を使って、スーパーマーケットでリサイクルをしていることを伝えよう。 ・"We can plant trees."の発音が分からなくて途中で止まってしまった。もう一度英語の発音を確認してみよう。 ・タブレットでの友達からのコメントを見てみると、「止まらないようにする」が多かったな。止まらないようにするためにペアの友達とモデル動画を確認しよう。 ・たくさんの人に発表をしているうちに、止まらずに発表ができるようになってきたぞ。友達からも"Good."というコメントがもらえたぞ。 ・友達はタブレットを見せるだけではなく、アイコンタクトもできていて、相手の反応を確かめながら発表をしていたな。 ・止まらないように発表をしたら友達からよいコメントがもらえたよ。"at the supermarket"という英語表現を付け加えて、発表ができたぞ。地球温暖化のことや地球温暖化を止めるためにできることが友達に伝わってよかったな。（目的を達成した意識）	○"We have ～.""We can change the world."等、児童が共通して用いる英語表現を確認できるように、ALTの後に続いて発音するよう促す。 ○友達の発表で詳しく知りたいことについて質問をできるように"Where can you ～?"等の英語表現を提示し、参考にするよう促す。 ○環境問題と環境を守るためにできることについての英語表現や伝え方を改善できるように、相手を替えて繰り返し発表をし合う促す。 ○必要に応じて、環境問題と環境を守るためにできることについての発表に用いる英語表現の音声を確認できるように、ロイロノート内の資料箱にあるモデル動画を参考にするよう促す。 ○環境問題と環境を守るためにできることについての発表をする際に用いた英語表現や伝え方の改善点を実感できるように、相手の発表後には口頭で発表について反応をし、タブレットに評価を入力するよう促す。 ○英語表現の選択・組合せを工夫する必要性や伝え方のよさに気付けるように、聞き取りやすい声の大きさや速さで発表ができていたペアをモデルとして紹介し、話していた内容とよかった点を問いかける。 ○環境問題と環境を守るためにできることについての英語表現や伝え方を改善できるように、友達からの評価を参考にするよう促す。 ○環境問題と環境を守るためにできることについての発表に自信をもてるように、英語表現や伝え方を改善している児童を称賛する。
3 本時の学習の振り返りをする。 ・止まらずに発表をすると相手にとって分かりやすい発表になるのだな。何度も発表をしたらずに伝えられるようになってきたぞ。 ・次回は群馬大学の留学生に発表をするのだな。今日できるようになったことを生かして、分かりやすい発表ができるといいな。	○環境問題と環境を守るためにできることの発表をする際の英語表現や伝え方について成果を実感できるように、「できるようになったこと」「次回がんばりたいこと」を視点に、Tryシートに記述するよう促す。 ○次時の学習で、留学生に向けて発表をするという見通しをもてるように、留学生のスライドを再度提示し、次時に取り組むことを問いかける。